



経腸栄養注入セット

GO BAG

ージーオーバグー

単回使用 単回使用 単回使用

衛生的に使えて、
安全性もレベルアップ。
経管投与の作業負担を大幅削減。

○ISO 80369-3適合 ○再使用禁止 ○滅菌禁止 ○単回使用

※製品改良のため仕様・構成などを予告なく変更させていただく場合がございます。※本カタログは印刷のため実際の製品と色合いが多少異なる場合がございます。※カタログ掲載内容は2023年5月現在のものです。

■販売代理

TOSHO
Your best pharmacy solution

株式会社トーショー
本社 〒144-0033 東京都大田区東糀谷3-8-8
TEL: (03) 3745-1331 (代)

■製造販売業者

 株式会社長谷川綿行

株式会社長谷川綿行
〒481-0013 愛知県北名古屋市二子四反地 977-2
URL: <https://www.hasemen.co.jp>

トーショー公式サイトはコチラ▶
<https://www.tosho.cc/>



※掲載のイメージイラストは実物大サイズです。

特許出願済

商標登録済

意匠登録済

機械器具74 医薬品注入器／一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000
販売名:ジーオーバグ／届出番号:23B3X00017000096

※GO BAG (ジーオーバグ) の意匠・商標権は、ジーオーメディカル株式会社の所有です。

従来の経管投与の手間と課題を一掃

懸濁から投与まで「バッグ1枚」で完結

従来の経管投与には、こんな課題がありました

- ① 薬剤によるチューブ詰まり
- ② 注入器や薬杯を使った懸濁の手間と投与量のロス
- ③ 懸濁液の取り間違えによる投与ミス
- ④ 投与後の機器の洗浄・乾燥・保管の手間



ジーオーバッグ

これらの課題をすべて解決するのが **GO BAG** です

安全

▲▲▲
薬剤の崩壊を目で確認し、崩壊してない場合は指でつぶすことができるので、チューブを詰まらせない懸濁液が作れます。

安心

▲▲▲
バッグに患者名を書くことで投与時に確認することができ、人的な間違いを防いだ安全な投与ができます。

衛生的

▲▲▲
バッグは1回使い捨てタイプ。最初に薬剤とお湯を入れたら、投与終了まで懸濁液の出し入れは不要で、手や外気に触れず衛生的です。

■ジーオーバッグの特長

吊り下げできるフック穴

懸濁中や保管時も場所を取らず便利。

記名欄

作成日や患者名の記入ができるので投与ミス防止に役立ちます。

透明性が高いフィルム

25 μ フィルムを採用。外側から指で薬剤を押しつぶすこともできます。

内側開栓

バッグ内のコネクタ（成形栓）を指で折って開栓。内側なので液が飛び出す心配がありません。

ISO80369-3適合のコネクタ

胃などに挿入したカテーテルに接続可能なコネクタを採用。点滴などへの誤接続を防げる安全設計です。

Wジッパー付き開閉口

大きく開いて薬剤やお湯の投入がしやすく、2段のジッパーで液漏れしにくい。

※ジッパー開口部、及びジッパー開口部切り込みが上向きになるように使用すること。

湯量(20~30mL)の目安

■仕様

販売名	ジーオーバッグ
外形寸法	W85mm×H205mm
容量	120mL
耐熱温度	70℃
内容量	1箱500枚入

簡易懸濁法でのジーオーバッグの使い方(参考例)

手順1

ジッパーを開けて薬剤を入れる

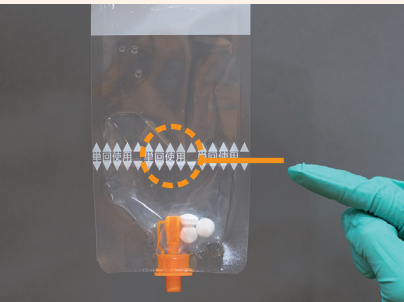
薬剤がジッパーに付着しないようご注意ください。(簡易懸濁法「適3」の薬剤はバッグ内でコーティングに亀裂を入れることが可能なものもあります。)



手順2

お湯を入れる

20~30mL、約55℃のお湯を用意。湯量は▽・△の印を目安に入れ、空気を抜いてジッパーを閉めます。



手順3

懸濁状態を目と指で確認する

崩壊してない場合は、指または先の丸いスプーン等で外側から押しつぶしてください。



※ジッパー開口部、及びジッパー開口部切り込みは上向きで、つぶし作業を行ってください。

手順4

経管チューブに接続して開栓

経管チューブに接続後、バッグ内のコネクタ（成形栓）をポキッと折って開栓します。



手順5

投与

自然落下で投与可能。



手順6

お湯を入れてフラッシュ

ジッパーを開け水またはお湯を注ぎ、経管チューブに残った薬液すべてを体内に入れます。



使用後は、そのまま廃棄